

防衛協会かがわ



V-22(オスプレイ)

写真提供：佐賀駐屯地輸送航空隊司令業務室

INDEX

新年のご挨拶 …… 香川県防衛協会会長 佐伯 勇人 … 2	松島研修レポート …………… 11～13
陸上自衛隊第14旅団長 仲西 勝典 … 3	特集（浅香1尉） …………… 14
自衛隊香川地方協力本部長 谷本 秀典 … 4	青年部活動報告 …………… 15
香川県防衛協会この1年 …………… 5～7	第14旅団広報 …………… 16～20
第63回香川県防衛協会定期総会 …………… 8～9	受賞おめでとうございます …… 21
事務局長だより …………… 10	連絡事項 …………… 22

新年のご挨拶

香川県防衛協会

会長 佐伯 勇 人



新年明けましておめでとうございます。

香川県防衛協会会員の皆様方におかれましては、ご家族ともどもお健やかに佳き新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

さて、国際社会は、近年戦後最大の試練の時を迎えていると言われています。東西冷戦終結後しばらく続いた世界平和の秩序は、ここに至り、我が国を取り巻く安全保障環境もかつてない複雑なものとなってきました。

中国は軍事力の質・量を広範かつ急速に強化し、尖閣諸島周辺を含む東シナ海や太平洋などでの活動を活発化しており、北朝鮮は引き続き大量破壊兵器や弾道ミサイルなどの発射を強行しています。またロシアはウクライナ侵攻戦の有利終結に固執する一方で、北方

領土近傍地域においても活発な軍事活動を継続しており、中露朝の独裁国家連合による圧力が日増しに高まっており、我が国としても、国防力の強化をはじめ然るべき覚悟の下で周到に対峙していくことが不可欠となっています。

そうした国際的な緊張が高まる一方、国内に目を転じますと、相変わらず気候変動を起因とした風水害が多発するとともに、全国各地で比較的大きな地震が頻発するなど自然災害の脅威に晒される状況が続いています。加えて昨年は、東北や隣県今治市において広範囲の山林火災が発生したほか、秋以降は人の居住域に出没するクマによる被害にも悩まされました。こうした非常事態が増加する中で、都度に出動要請がなされる自衛隊の活動範囲は拡がる一方です。

このような国内外情勢の下、昨年末には憲政史上初の女性首相となる高市早苗氏を総理とする新内閣が発足しました。高市総理は「強い日本」を旗印として、中長期を見据えた成長投資の推進による経済の底上げや、国防力の強化など、「責任ある積極財政」を展開する方針を打ち出されており、私どもとしても大いに期待をしているところ

であります。

常々申し上げているとおり、国防力の向上、自衛隊の戦力強化を図るのは、もとより「戦争に勝つ」ことが目的ではなく、「有事に至らしめない抑止力を保持する」ことにその狙いがあることは言うまでもありません。先の大戦で多くの犠牲者を出した我が国国民は、その痛みを教訓としてしっかりと胸に刻み、今後一切の戦争はしないとの誓いを共有し堅持していかなくてはなりません。

第14旅団におかれては、仲西旅団長の指揮のもと、そうした誓いを体現するべく、各種事態に即応する「機動旅団」として、日々の厳しい訓練を通じ作戦能力向上を図っていただいています。今後とも、自然災害発生時における緊急支援・応急復旧など「四国の護りの要」としての対応にもご尽力いただくと同時に、更なる即応力の高みを目指し研鑽を積んでいただきますようお願い申し上げます。

目下の我が国にとっての最大の課題は「人手不足」であります。人口減少が加速的に進む現状において、人材確保の問題は、とりわけ外国人による補填ができない自衛隊にとって極めて深刻な課題に

なっています。

自衛隊香川地方協力本部におかれては、様々な創意工夫を凝らしながら入隊者の勧誘・採用にご苦勞をされておられると伺っています。こうした香川地本の採用活動には、当協会としても本腰を入れて支援・協力をしていくことが重要と認識しており、本年は協会活動の柱の一つとして、特に注力していければと考えております。

当協会は、会員の増勢を図りながら、今後とも自衛隊に対する支援・協力を力強く進めていく決意であります。会員の皆様方におかれましては、引き続き自衛隊を支える良き理解者として、当協会の事業活動に力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、協会運営に関し忌憚のないご意見・ご提案を頂戴できれば幸いに存じます。

結びになりますが、本年が皆様方にとって、幸多き一年となりますことをご祈念申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

年頭の辞

陸上自衛隊第十四旅団長

陸将補 仲 西 勝 典



明けましておめでとうございます。

香川県防衛協会の皆様におかれましては、令和八年の新春を清々しくお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃より第十四旅団の活動に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、現在の国際情勢は、米中の戦略競争を軸とした国家間の分断が加速・継続し、国際的枠組みによる世界秩序の維持が困難になる中、インド太平洋地域は様々な安全保障上の課題が存在し、我が国は、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています。周辺各国においてはミサイル開発等を含む軍事増強が急激に進められ、力による一方的な現状変更の圧力がかつてないほどに高まるとともに、宇宙・サイバー・電磁波等への新たな領域における脅威が顕在化し、これらの脅威への対応が求

められるなど、多様化・複雑化する安全保障環境下において自衛隊に求められる役割と責任は一層重要性を増しています。

国内に目を転じれば、新内閣の発足により、国家安全保障戦略などの三文書について、令和八年中に改定する方針であり、防衛力の変革に係る各種検討が一層加速する見通しです。

また、南海トラフ地震等の大規模地震は、いつ起きてもおかしくなく、さらに気候変動の影響を受けて激甚化・頻発化する風水害や、各地で活発化する火山活動が、大規模な自然災害につながる可能性があります。

このような中、防衛省・自衛隊が進める取り組みを具現化するため、防衛力の抜本的な強化は急務の課題です。そのため、我々第十四旅団は、すべての隊務を実任務に通用するか否か、これを物事の判断尺度として、「すべては実任務のために」という信念のもと、平素から本質を追求した実戦的な訓練と即応態勢の維持に努め「令和7年度旅団演習」を行い、配属・協同部隊を含む増強第十四旅団の一連の行動を演練し、その実力を着実に向上させています。

また、昨年三月に発生した愛媛県今治市での山林火災及び八月の徳島県板野町での林野火災に対し、関係機関と緊密に連携した災害派遣活動を実施しました。更に、南海トラフ地震をはじめとする大規模自然災害への備えを強化し、いかなる事態にも迅速かつ的確に対応するため、各種防災訓練を通じて、災害対処能力の実効性向上を図るほか、国や四国四県等と連携して万全を期す所存です。

四国の防衛・警備、災害派遣のほか、機動旅団として我が国に脅威が及ぶ場合には、迅速に展開して任務を遂行する我々第十四旅団は、地域の皆様から信頼され、国民の負託に応えられる強い部隊でなければなりません。

服務の本旨において「事に臨んでは危険を顧みず、身をもつて責務の完遂に務める」ことを宣誓しており、これが我々の原点です。原点に立ち返り、この言葉の意味を深く心に刻み、隊員一人ひとりが使命を自覚するとともに、「すべては実任務のために」を合言葉に、いかなる事態にも即応し、与えられた責務を完遂すべく全身全霊で日々の隊務に取り組んでまいります。併せて、隊員一人ひとりが互い

を尊重し、安心して力を発揮できる職場環境を築くため、「和と風通し」を大切に、現場の声に耳を傾け、結束力のある部隊を目指してまいります。

結びに、香川県防衛協会の皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますとともに、旅団に対し変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって実り多き一年となりますことを心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

自衛隊香川地方協力本部長

一等陸佐 谷 本 秀 典



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中はもとより、平素から防衛省・自衛隊、また自衛隊香川地方協力本部へのご理解とご支援を頂戴しておりますことに対し深甚より感謝申し上げます。

我々、香川地本は、地域における連絡協力・広報、自衛官の募集・再就職支援、予備自衛官業務等を任務としており、特に少子化という厳しい募集環境下においても有為な人材を獲得して、防衛省・自衛隊の人的基盤の抜本的強化に貢献することを業務の焦点として活動しております。

このため、日本一魅力的でコンパクトな県に第十四旅団主力が駐屯するという香川県特有の特性を踏まえ、香川地本は以下のサイクルの扇の要として、より強く、より主体的な役割を果たして参りたい

と考えております。そのサイクルとは、良質な人材を地域から「募集」し、入隊した人材を部隊による「教育訓練」により更に質の高いものとして、その人材を再就職支援や予備自衛官等により地域社会に「再就職・活躍」していただき、より一層質の高い隊員の募集につなげていくというものです。この「募集」、「教育訓練」、「再就職・活躍」という一連の良好なサイクルは、各自自治体や関係団体等を始めとする地域の皆様方のご理解・ご協力があつて初めて成り立つものであり、自衛隊香川地方協力本部は第十四旅団と一体となって、長期かつ安定的な人的基盤の強化の一翼を担っていく所存であります。

最後になりますが、この一年が皆様にとりまして充実した一年となりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も

香川地本を

よろしくお願ひ

いたします。



香川地本HP



香川地本マスコットキャラクター
「モリーヌくん」

香川県防衛協会この1年

3月9日 香川県自衛隊入隊・入校激励会



自衛隊協力三団体が主催し、レクザムホールにおいて令和7年春、自衛隊入隊・入校激励会を開催した。当日は、各協力団体代表や来賓、入隊等予定者の家族等が出席し、盛大に式典が行われた。参加した入隊・入校予定者は、励ましの言葉を胸に、それぞれが自衛官への第一歩を力強く踏み出した。

4月15日 令和7年度第1回女性部役員会



リーガロイヤルゼスト高松にて女性部役員会を行った。役員選定や今年度の行事計画について協議し、香川地本長より女性部の活動に温かな励ましの言葉をいただいた。会議後は昼食を囲んで意見を交わし、和やかな雰囲気の中で親睦を深める時間となった。

1月14日 南海レスキュー訓練研修



徳島県海陽町で実施された南海トラフ地震による大規模災害を想定した南海レスキュー訓練を研修した。水陸両用車両(AV7)の上陸展示や災害派遣の連携手順など間近で見学し、自衛隊の迅速な災害対応の重要性を再確認する貴重な機会となった。

1月30日 自衛隊協力団体賀詞交歓会



リーガロイヤルゼスト高松において、香川県防衛協会及び香川県隊友会主催による自衛隊協力団体賀詞交歓会が開催された。会場には県知事をはじめ多く来賓が出席され、自衛隊に対する日頃の感謝と地域防衛への期待が述べられた。式典は厳かな雰囲気のもと進行し参加者は新年の挨拶を交わしながら親睦を深め、相互理解を深める有意義な交流の場となった。

6月8日

富士総合火力演習研修



陸上自衛隊が実施する富士総合火力演習を研修として見学した。戦車・装甲車両や航空機等の機動展示や実弾射撃が行われた。戦車が大地を震わせて進む音や、実弾射撃の轟音が全身に伝わり、会場は圧倒的な迫力に包まれた。的確な射撃と力強い機動、隊員の息の合った動きに参加者は感銘を受け自衛隊の高い練度を実感する研修となった。

6月28日

第47回高松自衛隊定期演奏会



陸上自衛隊第14音楽隊と航空自衛隊中部方面航空隊西部音楽隊をレクザムホールにお招きし、第47回自衛隊高松定期演奏会を開催した。当日は約2000席の会場が満員となり両音楽隊が迫力ある演奏を披露した。多くの来場者に自衛隊音楽隊の魅力を届け、地域の皆さまの自衛隊への理解と関心の高まりに大きく寄与する演奏会となった。

4月27日

第14旅団創隊19周年・善通寺駐屯地開設75周年記念行事



第14旅団創隊19周年及び善通寺駐屯地創設75周年記念行事が、開催され、本会から6年ぶりの市中観閲行進れた。

なお、本記念日において、佐伯会長及び女性部の綾副部長が第14旅団長から感謝状を授与された。

6月2日

令和7年度青年部第28回総会



リーガロイヤルゼスト高松にて令和7年度青年部第28回総会を開催した。総会では今年度の事業計画や運営体制について協議し、今後の活動方針を確認した。続く講演では与那国駐屯地で部隊長を務めた講師より、日本の防衛体制や島しょ防衛の重要性について話を伺い理解を深めた。終了後は懇親会で意見交換が活発に行われ、参加者同士のつながりを強める有意義な時間となった。

令和8年行事予定

1月15日 自衛隊協力団体賀詞交歓会

2月21日 第14旅団音楽まつり

3月 7日 令和7年度自衛隊入隊・
入校予定者激励会

青年部研修

4月 女性部役員会
善通寺駐屯地記念行事

5月 本会役員会
掃海母艦高松入港歓迎行事
第56回中国・四国地区
自衛隊協力団体長会議

6月 青年部総会
全国防協会連合会定期総会
第48回自衛隊音楽隊
高松定期演奏会

7月 香川県防衛協会
第64回定期総会

10月 本会研修
全国防衛協会
女性部研修大会

9月27日・28日

海上自衛隊艦艇見学「いなづま」



9月27日、28日の両日、海上自衛隊護衛艦「いなづま」が一般公開のため高松港に寄港した。岸壁は連日多くの見学者で賑わった。特別公開には当会員も参加し、艦内見学や装備説明を通じて海上自衛隊の役割への理解を深めた。乗員との交流を交えながら貴重な見学機会となった。

12月20日・21日

陸上自衛隊輸送艦「にほんばれ」



12月20日・21日の両日、陸上自衛隊の輸送艦「にほんばれ」が高松港に一般公開のため寄港した。「にほんばれ」は車両・物資・隊員を輸送するために運用されている大型輸送艦で、寄港中は艦内見学や装備説明が行われ、輸送艦の任務や役割について理解を深める良い機会となった。堂々とした艦影は多くの来場者の注目を集めていた。

第63回 香川県防衛協会定期総会

香川県防衛協会は令和七年六月十八日、高松市の国際ホテルにおいて第六十三回定期総会を開催した。

総会では、国歌斉唱に始まり、会長挨拶が行われた。会長からは日頃の協会活動への協力に対する謝意とともに、地域の安全保障環境をめぐる現状を踏まえ一層の連携強化の必要性が述べられた。

議事では、令和六年度の事業報告、収支決算

報告及び、監査報告に関する件、令和七年度事業計画、収支予算に関する件、役員改選及び顧問・相談役の委嘱に関する件について審議し、原案通り承認・可決された。

今年度の計画では、防衛に関する理解促進のための研修会開催、会員拡大、地域行事への協力強化など、より充実した取り組みを進めていく方針が示された。

続く表彰式では、「自衛官の就職援護」に寄与した事業所や、教会の活動の発展に貢献した会員に対して感謝状・表彰状が授与された。壇上では一人ひとりに表彰が手渡され、会場からは温かい拍手が送られた。受賞者の功績紹介においては、日頃の地道な協力や積極的な活動が取り上げられ、教会としての連帯感が感じられる場となった。

続いて、新役員の紹介が行われ、新たな体制のもとで令和七年度の活動がスタートすることが報告された。その後、会費未払い会員への対応や会費自動引き落とし制度の導入など、実務的な報告事項が示され総会は閉会した。



(9) 防衛協会



総会後は場所を瀬戸の間に移して懇親会を開催した。会員同士、来賓を交えながら終始和やかな雰囲気で懇親会が行われ、第六十三回定期会は閉会した。
なお、役員改選は次のとおり。

◆ 役 員 改 選 ◆

役職名	新 任	退 任
副会長	株式会社 百十四銀行 常務執行役員 小 田 英 城 お だ ひで き	株式会社 百十四銀行 常務執行役員 黒 川 裕 之 くろ かわ ひろ ゆき
	株式会社 久本酒店 代表取締役社長 佐 藤 哲 也 さ とう てつ や	日産プリンス香川販売 株式会社 代表取締役社長 久 保 智 彦 く ほ とも ひこ
	株式会社 ホテル川六 代表取締役社長 宝 田 圭 一 たから だ けい いち	中商事 株式会社 取締役会長 なか ひろ し
常任理事	_____	株式会社 久本酒店 代表取締役社長 佐 藤 哲 也 さ とう てつ や
	_____	株式会社 ホテル川六 代表取締役社長 宝 田 圭 一 たから だ けい いち
理 事	高松市議会 議 長 さか した かつ ひと 坂 下 且 人	高松市議会 議 長 おお み まさ ひろ 大 見 昌 弘

◆ 顧 問 ・ 相 談 役 の 委 嘱 ◆

役職名	新 任	退 任
顧 問	香川県議会 議 長 たに ひさ こう いち 谷 久 浩 一	香川県議会 議 長 まつ ばら てつ や 松 原 哲 也
	第14旅団長 陸将補 なか にし かつ のり 仲 西 勝 典	第14旅団長 陸将補 おお ば つよし 大 場 剛
相談役	日産プリンス香川販売 株式会社 代表取締役社長 久 保 智 彦 く ほ とも ひこ	_____
	中商事 株式会社 取締役会長 なか ひろ し 中 博 史	_____

事務局長だより



香川県防衛協会

事務局長 横井 貴典

新年あけましてめでとうございます。

会員の皆様には、日頃から当協会へのご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、昨年のトピックスとして、年会費不払会員への対応問題でした。近年の会費入金状況を確認したところ、在籍会員の約半数が、年会費の未払い状態が続いていることから、役員会にて議論を重ねた結果、会員数の減少を覚悟しつつ、会費未払い会員の資格停止措置の実施を決定しました。決定の主な理由として、未払い会員へも「防衛かがわ」の発送等、会員と同等なサービスを提供しており、昨今の物価高騰から印刷費・通信費等の経費が高額な負担となっているからです。

この対応措置上において、会員皆様へのご案内の重複等、事務局の不手際にて大変ご迷惑をお掛けしました事を、この場をお借りして深くお詫び申し上げます。

尚、新たな会員募集も引き続き実施しており、会員1名勧誘運動は継続して参りますので、これらも会員皆様のご協力をお願い致します。

もう一つのトピックスは、松島基地ブルーインパルスの研修旅行の実現です。

6番機パイロットが、香川県坂出市出身の浅香光司一尉である事と、ブルーインパルの隊員

は、3年間の在籍期間である事から今年と来年もと、松島基地研修を実現する事が出来ました。詳細は、松島基地研修レポートをご覧ください。

今年も香川県出身隊員の慰問激励、会員の自衛隊への知識向上の為に、研修旅行を企画して参りますのでご期待下さい。

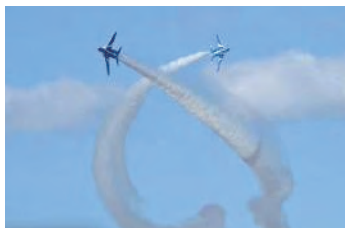
さて、恒例の航空祭報告に移ります。今年は始めて三沢基地航空祭に参加し、毎年再発しているアフターバーナー爆浴禁断症状は完治しており、既に今年の参戦準備を進めています。

印象に残った航空祭は、築城・百里で、晴天に恵まれ、ブルーが描くスモークの美しさに、口をあぐり開けて空を見上げていました。



三沢基地航空祭にて 浅香1尉（坂出市出身）

<百里基地 ブルーインパルス展示飛行の様子>



技名：タッククロス



技名：スタークロス

<築城基地 第6飛行隊 F2戦闘機の編隊飛行>



松島基地の研修が決定した後、6番機が妙に身近な存在に感じ（勝手ですが）6番機浅香一尉の追っかけ状態で、各航空祭で地上から応援しておりました。ブルーインパルスのアクロフライトは、航空自衛隊の航空祭でしか見る事が出来ない事と、天候にも大いに左右されます。しかし、一度でも快晴下でのブルーのフライトを体感すると、病みつきになる事を保証します。各航空自衛隊の基地は遠方が多いですが、（美保基地が一番近い）是非航空祭に足を運んで、ど迫力の戦闘機のフライトと素晴らしいブルーのフライトに感動して下さいね。

松島研修 レポート

香川県防衛協会は令和7年10月9日、午前6時10分に高松空港に集合し、会員36名が参加して宮城県松島方面に向かいました。香川地方協力本部からは本部長の谷本1佐をはじめとする3名にもご参加いただきました。

当日は航空機と新幹線を乗り継ぎ、現地へ向かい、宮城県に到着後は、松島地区において震災遺構視察を通じた研修を行いました。



石巻市震災遺構門脇小学校

研修では、東日本大震災により甚大な被害を受けた門脇小学校を訪問しました。当時の被災状況や避難誘導の様子について説明を受け、津波の痕跡が残る校舎や震災遺構を見学しました。想像を超える被害の大きさを目のあたりにし、震災の恐ろしさと、日頃からの防災意識や迅速な避難行動の重要性を改めて認識する機会となりました。

その後は、石ノ森萬画館、いしのまき元氣市場を訪問し、震災からの復興の歩みや、文化を通じた地域再生の取り組みに触れ学びの研修となりました。



石巻市震災遺構門脇小学校施設内での見学の様子



いしのまき元氣市場



石ノ森萬画館と周辺の景色



石ノ森萬画館



石ノ森萬画館
ウェルカムボード

航空自衛隊 松島基地研修レポート

10月10日は、航空自衛隊松島基地研修を実施しました。

当日は天候にも恵まれ、研修では、基地防空用地対空誘導弾についての説明を受け、我が国の防空体制や装備の役割について理解を深めました。また、救難消防車の説明では、航空機事故や災害発生時における迅速かつ、的確な対応を可能にするための装備や体制について説明を受け、隊員の高い専門性と使命感を感じる機会となりました。



松島基地司令と記念撮影



基地防空用地
対空誘導弾



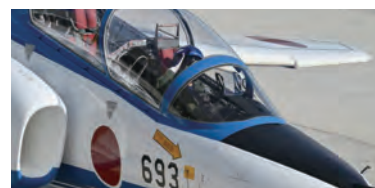
救難消防車
(ストライカー)



B I 訓練の説明を受ける様子

続いてブルーインパルスの展示飛行が予定されていましたが、当日は上空にパラグライダーが確認されたため、安全確保の観点からやむを得ず中止となりました。展示飛行の見学はかないませんでした。ブルーインパルス隊員で香川県出身の浅香1尉と直接交流する時間を多く設けられることとなりました。

次項では浅香1尉との交流の様子を中心に記念撮影や懇親のひと時を紹介します。





松島基地研修後半では、香川県出身隊員である浅香1尉への慰問激励として、佐伯会長から香川県土産が贈呈されました。慰問激励の後は、浅香1尉よりブルーインパルス機体について詳細な説明を受けました。機体の構造や、飛行任務、日々の厳しい訓練等について分かりやすく説明していただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。説明後は機体前での記念撮影が行われ和やかな雰囲気の中、会員と隊員との貴重な交流の時間が設けられ、展示飛行では得られない、隊員の生の声や人柄に触れる貴重な機会となり、会員一人ひとりの心に深く残る時間となりました。

今回の研修を通じて、国の安全を支える自衛官一人ひとりの使命感と高い練度、そして日々の地道な努力の積み重ねが、我が国の平和と安全を守っていることを改めて実感しました。参加会員にとって、防衛への理解と関心を深める大変有意義な研修となりました。

最後に、本研修の実現にあたり、多大なご配慮とご協力を賜りました松島基地司令、第4航空団第11飛行隊ならびに浅香1尉に、心より感謝申し上げます。



<慰問激励の様子>



中身は「栗林のくり」(大栗)



航空自衛隊 第4航空団第11飛行隊

1等空尉 浅香 光司



(香川県坂出市出身)
ブルーインパルス 6 番機
パイロット

この度、寄稿の機会を賜り、心より御礼申し上げます。香川県出身の航空自衛官として、郷土の皆様に日頃の活動を報告できることを大変光栄に思います。

私が航空自衛隊の戦闘機パイロットを志した原点は、幼少期から眺めていた瀬戸内の空にあります。穏やかな海と美しい島々の上に広がる澄んだ空は、子どもの頃から私にとって「帰る場所」であり、同時に「憧れの世界」でもありました。香川で育ったからこそ抱くことができた空への想いが今の自分に繋がっていると感じています。

そのような中、昨年の晩春に晴れて故郷・香川の上空を飛べる機会を与えていただきました。誠に残念ながら、諸事情により善通寺会場への進入は叶いませんでした。しかしながら、瀬戸大橋や讃岐富士、見慣れた景色が視界に広がった瞬間は、たいへん感慨深く、思わず目頭が熱

くなりました。さらに、地元・坂出の上も航過することができ、後にも先にも私のパイロット人生の中で最も心に残るフライトとなりました。

一方で、全国各地を飛ばさせていただく中で強く感じるのは、「空には地域を繋ぐチカラがある」ということです。私たちが描く一つひとつの航跡が、人と人、地域と地域を結ぶ「架け橋」になることを願い、日々の任務に臨んでおります。我々ブルーインパルスの任務は単なるアクロバット飛行にとどまるものではありません。我が国を取り巻く安全保障環境は戦後、最も厳しい状況にある中であって、航空自衛隊の存在を身近に感じていただき、ひとりでも多くの方々に安心と信頼を届けることが、その使命であると考えております。だからこそ香川の空を仰ぎ見て育った者として、その責任の重さを強く胸に刻んでおります。

香川県防衛協会をはじめ、郷土の皆さまから寄せられる温かいご声援は、遠く離れた地で活動する私にとって何よりの励みです。これからも「Challenge for the creation. 創造への挑戦」を合言葉に、我々ブルーインパルスは皆様に、夢、感動、希望、そして笑顔をお届けできるよう、これまで受け継がれていた伝統ある技に、より一層の磨きをかけ、更なる飛躍を目指してまいります。

結びに、香川県防衛協会の今後益々のご発展と、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。併せて、今後とも航空自衛隊ならびにブルーインパルスへの変わらぬご理解、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「ブルーインパルス6番機パイロット 浅香1尉」

出身：航空学生第67期（香川県坂出市出身）

所属：航空自衛隊 第4航空団第11飛行隊
通称「ブルーインパルス」



6 番機は編隊から独立した単独飛行を担当し極めて高度な操縦技量と正確なタイミングが求められる重要なポジション。師匠の加藤 1 尉から伝統の技と精神を受け継ぎ今年度から展示飛行デビュー。

2025 年 4 月に行われた陸上自衛隊第 14 旅団創隊 19 周年記念行事の一環として丸亀城、県立アリーナ、瀬戸大橋上空などを通過し展示飛行を行う。

お名前「光司」は貴乃花の本名「花田光司」から。TAC ネーム（コールサイン）も貴乃花からの「TAKA」



写真提供：航空自衛隊第4航空団第11飛行隊

富士総合火力演習 研修に参加して

防衛協会青年部 高尾 裕子

この度、令和7年度富士総合火力演習を見学する貴重な機会をいただき、心より御礼申し上げます。

私自身初めての見学でしたが、普段は映像や報道を通してしか触れることのない自衛隊の任務の一端を、実際に自分の目と体で感じることができ、わが国の防衛がどれほど多くの方々の不断の努力と覚悟によって支えられているのかを深く実感する一日となりました。

演習開始とともに響き渡る射撃音、地面を揺らす衝撃、そして部隊の皆様の練度の高さを示すように、息を合わせて展開していく姿は終始迫力に満ちていました。

各部隊が状況に応じて柔軟に行動を切り替え、的確に任務を遂行していく様子には、日頃の厳しい訓練がいかに積み重ねられているかの表れであり、ただただ圧倒されるばかりでした。大きな車両が躍動し、空からは航空機が巧みに進入するなど、さまざまな要素が

一体となって展開されていく光景は、自衛隊の総合力を強く感じさせると同時に、こうした高度な連携が、平時からの弛まぬ鍛錬によって支えられていることを思うと、その責務の重さと献身に頭が下がる思いです。

今回の見学を通じて、自衛隊の活動をより身近に感じただけでなく、その存在が国の平和と安全に不可欠であるということを改めて認識しました。私たちの生活が当たり前に営まれている背景には、隊員の皆様の覚悟と、日々の鍛錬があるのだと思うと、感謝の気持ちしかございません。



最後になりましたが、演習の実施にあたり、準備や運営に携わられたすべての皆様に深く感謝申し上げます。今後も自衛隊の皆様のご活躍と安全を心よりお祈りするとともに、国民の一人として、また、防衛協会の一員としてさらに理解を深めてまいりたいと思います。このような貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

心に響いた

「You Raise Me Up」
高松定期演奏にて

防衛協会青年部 長谷部 匡昭

演奏会中に印象的な出来事がありました。

名曲「You Raise Me Up」を女性隊員が力強く伸びやかな歌声で披露してくれた時です。会場から「おかあさん！」と女性隊員に向けた子供の声が響きました。

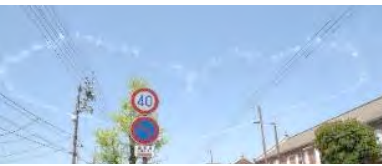
その瞬間、毅然と歌っていた女性隊員の表情が一瞬ほころび、優しい母の顔になりました。彼女は一度、視線を会場に落とし、そっと目元を押さえます。しかし、すぐに前を向き凛とした隊員の顔に戻り

名曲を歌い続けたのです。使命を背負う隊員としての顔とひとりの母としての顔、その二つの表情の交錯に心を揺さぶられました。

後日談で、その女性隊員はこの定期演奏会を最後にご家族とともに別の隊へ異動されるとのこと。子供の「おかあさん！」には、自衛隊音楽隊の一員として職務に精進する母へのねぎらいと感謝。そして、心から誇りに思っていることが伝わりました。同時に隊員の方々にも守るべき家があり、家庭があるという当たり前のことに気づかされ胸が熱くなりました。

あらためて、国家の安全保障という重責を担う自衛隊の方々への深い尊敬と感謝の念。この国の平和と安全が自衛隊の存在により支えられていることを身近に感じながら、穏やかな日々が続く事を心から祈っています。





前日のブルーインパルス展示飛行予行では普通寺市に大きなハートを届けてくれました



6年ぶりの市中観閲行進復活！

19年ぶりとなるブルーインパルス展示飛行は、残念ながら普通寺上空での飛行は中止となりましたが、6年ぶりの市中観閲行進では、多くの観客の皆様から温かい声援を受けながら堂々たる行進を披露し、会場はたくさんの元気と熱気に包まれていました。



19周年及び 75周年記念行事



ロープ渡りに挑戦！

自衛隊の
装備品すごい！



挑戦

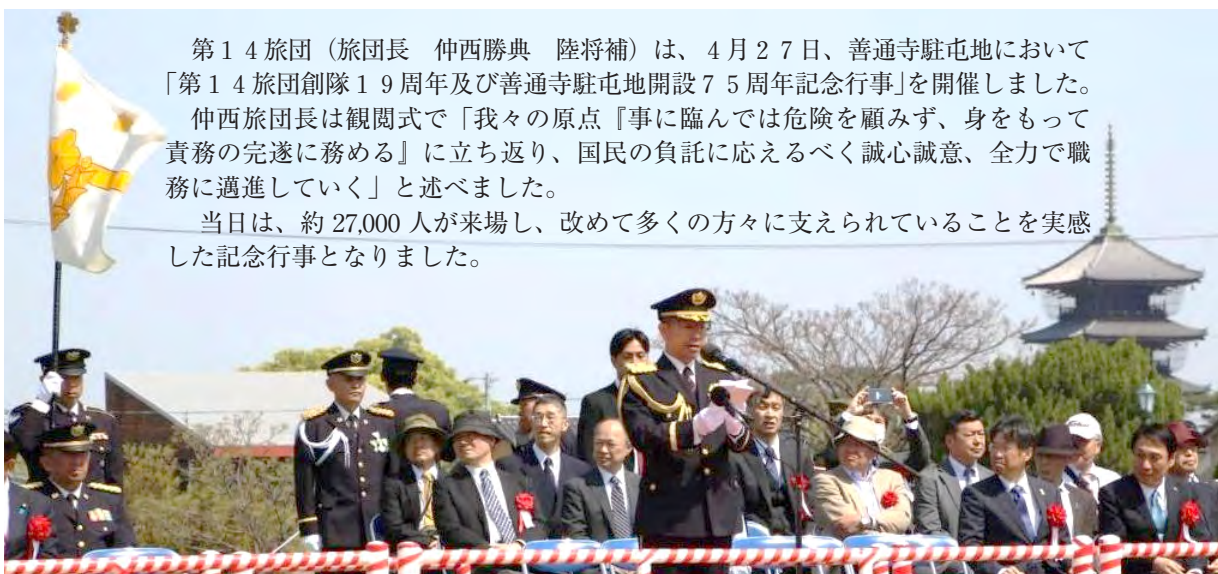
～羽ばたく未来へ～

今年は「挑戦～羽ばたく未来へ～」をテーマに掲げ、常に変化する情勢や任務に柔軟に対応し、新しいことに挑戦し続ける旅団を表現しました。

引き続き、第14旅団・普通寺駐屯地は、さらなる高みを目指して未来に向けて大きく飛躍していきます。

第14旅団（旅団長 仲西勝典 陸将補）は、4月27日、善通寺駐屯地において「第14旅団創隊19周年及び善通寺駐屯地開設75周年記念行事」を開催しました。仲西旅団長は観閲式で「我々の原点『事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務める』に立ち返り、国民の負託に応えるべく誠心誠意、全力で職務に邁進していく」と述べました。

当日は、約27,000人が来場し、改めて多くの方々に支えられていることを実感した記念行事となりました。



オートバイドリル
女性自衛官が初抜擢！



模擬戦闘訓練展示

最新の装備を駆使した迫力満点の演出！





初動連絡員の出発



自治体との調整



空中消火活動の様子

徳島県板野町林野火災に伴う 災害派遣活動

令和7年8月27日、徳島県板野町において発生した林野火災に対し、第14旅団（旅団長 仲西勝典 陸将補）は、速やかに板野町役場等に連絡員を派遣し、消防や自治体と緊密に連携し、消火活動の態勢を確立しました。

28日から9月4日鎮圧が確認できるまでの間、第14飛行隊のUH-1Jのほか、大型輸送ヘリCH-47JAの増援を受けながら、空中からの消火活動を継続しました。厳しい暑さが続く環境の中、一丸となって任務に取り組みました。



活動間、SNS等を通じて多くの方々から温かい応援を受け、地上から上空へのメッセージも届きました。今後も引き続き、地域と連携し、迅速かつ的確な災害派遣に努めてまいります。



仲西旅団長による現地指導



後藤田知事及び板野町長からの激励



地上から上空へ届いたメッセージ

陸士から陸曹へ 履修前教育

この教育は、初級陸曹として必要な資質を養い、隊員の能力・特性を踏まえた共通的な事項を重視して、入校間必要な基礎的知識及び技能を修得するための教育です。



総合訓練「攻撃」の様子

分隊長として隊員を指揮しながら目標を奪取しました。



大麻山での徒步行進の様子

約 30kg の背嚢を背負い、同期の背中を押し合いながら目的地を目指し、11人全員が完歩しました。

新たな一歩 自衛官候補生課程

情勢の中、国を護るという崇高な使命を担う自衛官としての道を選択し、入隊を決意した諸官に対し、深甚なる敬意を表する」と激励の言葉を述べました。

6月下旬の修了に向け、約3ヶ月間、自衛官として必要な教育訓練に専念し、自衛隊の規則、礼式や基本的な技能等を学んでいます。

第15即応機動連隊（連隊長 柿内慎治 1等陸佐）は、4月5日、善通寺駐屯地において66名の自衛官候補生の入隊式を挙行了しました。入隊式において連隊長は「このような厳しい



催涙ガス体験



10km行進



体力検定



装備品研修



入隊式の様子



戦闘射撃シミュレーター（GCSS）射撃訓練

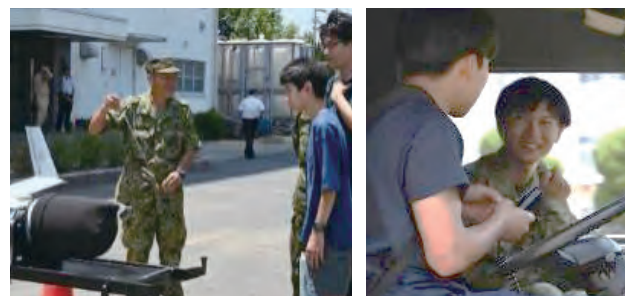


第14旅団(旅団長 仲西勝典 陸将補)は、7月5日、善通寺駐屯地において「自衛官」という職業の魅力を発信するため、募集対象者やそのご家族に、陸上自衛隊の活動をより身近に感じていただけるイベント『陸自ワーキングフェスタ in 四国』を開催しました。

陸上自衛隊の16個の職種について、各隊員から説明を行い、日頃どんな仕事をしているのか、どのようなスキルが身に付くのかなど、将来「自衛官」として働く自分の姿をイメージアップできるよう、それぞれの職種の魅力を最大限にアピールしました。



各職種のプロたちが特殊な装備品を分かりやすく説明し、参加者は興味深く聞いていました。



イベント全体を通して陸上自衛隊について『見る・聞く・触れる』といった体験を重ねることで、参加者の記憶に残る貴重なイベントとなりました。

受賞おめでとうございます

防衛大臣感謝状

令和7年10月11日

香川県防衛協会 副会長 佐藤 哲也 様

中部方面総監感謝状

令和7年3月1日

香川県防衛協会 事務局長 横井 貴典 様

第14旅団長感謝状

令和7年4月27日

防衛協会会長 佐伯 勇人 様 女性部副部長 綾 婦美子 様

自衛隊香川地方協力本部長感謝状

令和7年7月25日

常任理事 松井 勝也 様 青年部部長 太田 貴也 様

香川県防衛協会会長 感謝状

令和7年6月18日

株式会社四電工 殿

香川県防衛協会会長 表彰状

令和7年6月18日

『協会の事業遂行に対する功績』

相談役

久保

智彦

様

相談役

中

博史

様

個人会員

堀本

和弥

様

『青年部の事業遂行に対する功績』

青年部会員

長谷部

匡昭

様

香川県防衛協会に入会される方をご紹介します！

香川県防衛協会では、組織の拡充と活性化を図るため新規会員を随時募集しています。

協会にご入会いただくと、

- ・自衛隊関連行事への見学会・研修会のご案内
- ・青年部・女性部による地域活動への参加
- ・イベント情報をいち早く配信！（LINE 登録）

など、さまざまな情報を受け取ることができます。
法人団体・個人、どなたでも入会できます。
皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

ご質問や資料請求はお気軽にご連絡ください。

TEL：080-8633-2737 担当：横井
ホームページ <http://www.kagawa-bouei.jp/news>



香川県防衛協会
ホームページ



入会案内
申込フォーム



会員登録情報
更新フォーム

お知らせ

香川県防衛協会事務所

設置について

令和8年2月より
住所 〒七六〇一〇〇一九
香川県高松市サンポート
一番一号

高松港旅客ターミナル1階

に設置して業務を開始することとなりました。

協会の業務をより一層強化充実
させていきたいと思っております。
今後とも協会へのご理解ご支援お
願いたします。

※電話番号等連絡先については変
更等はございません。



編集後記

香川県本防衛協会担当

香川地方協力本部 藤川

防衛協会を担当させていただき
1年半が経ちました。

協会の皆様からは数多くのご支
援、ご協力をいただき業務を円滑
に実施させていただいており、感
謝の気持ちでいっぱいです。

今年も精一杯防衛協会の活動が
充実したものになるように努めた
と思います。

「防衛協会かがわ」

編集室 久保 智彦 横井 貴典
発行所 香川県防衛協会

〒七六〇一八六九一

香川県高松中央郵便局

私書箱111号

TEL 〇八〇一八六三一二七三七
印刷所 (株)万成社

〒七六〇一〇〇四一

TEL 〇八七一一二二一三三八八
香川県高松市百間町五二

